

# 女性の健康問題も対応

## 電話など 体制強化 富山駅の北に移転

### 県不妊相談センター

県不妊専門相談センターが十三日、JR富山駅北側の県民共生センター「サンフォルテ」(富山市湊入船町)内に移転した。新たに時間延長や直通電話の開設、スペース拡張などで体制を強化したほか、女性特有の問題に応じる県女性健康相談センターの機能も兼ね、利便性が増した。(相馬敬)

今後は火・土曜の午

前九時～午後六時(午後一～二時を除く)に電話相談か予約制面接のいずれかを受け付ける。電話は三十分間、面接は五十分間。

これまでは県立中央病院(同市西長江)内にあり、相談日は月・金曜日の午前中のみ。委嘱を受けた助産師が電話と面接の相談に応じていた。直通電話はなく、利用者は病院から取り次いでもらって

いた。相談員は、運営委託を受けたNPO法人・ハッピーウーマンプロジェクト(同市安住)の理事長で、不妊女性スタッフを務める。



スタッフによる相談の受け付け  
例＝県不妊専門相談センターで

センターの広さは六十平方メートルと従来の十倍となり、集団でのカウンセリングにも対応する。移転に伴う事業費は六十万円、運営委託費は年間四百万円。

県健康課によると、不妊は一般的に、通常の夫婦生活を二年間営んでも妊娠しない場合

を指し、日本では十組に「一組が悩んでいる」といって相談がある。二〇〇九年度は百二十四件が寄せられた。「体外受精などの特定不妊治療を続けるべきか」「家族や職場の相談と予約はセンター」電076(483033)へ。